

# 2019年（平成31年）度事業計画書

## I 2018年（平成30年）度事業の総括

従来からの課題であった、公益目的事業の統合、教育と文化の融合等については、予定どおり遂行することができ、次年度からの実施への道筋が開けた。一方、今期初めてベネッセ株の配当減があり、期中での大規模な見直しを行い、事業の削減や休止、経費の削減を行った。また、次年度以降も配当減が維持される見込みであり、改めて中長期の視点から事業の見直しを行った。主な取組みは、以下のとおりである。

### 1 公益目的事業を一本化した。

「公益目的事業2 国際的人材育成事業」を、「公益目的事業1 教育文化活動支援事業」へ統合した。当初、公2は世界で活躍できるグローバル人材の育成、留学・交流の促進を目的としたが、現在は、国や地方公共団体、各教育委員会等において重点的な政策として実行されるようになっており、また、公2の中心的事業であった「オーストラリアプレ体験留学事業」は、財団独自の事業として10年間実施したが、平成28年度で終了しており、その他、日中青年交流研修事業等も公1の枠組みの中で実施することが適当と判断した。

この統合については、6月16日開催の理事会・評議員会で「公益目的事業の変更認定申請の件」として承認され、9月28日に岡山県知事に変更認定申請を行い、12月6日に変更認定書を受領した。

### 2 教育と文化の融合を図り、2019年度より実施すべく、内容について、変更を行った。

表彰事業：4種類あった賞を福武教育文化賞へ一本化した。

助成事業：教育部門、文化部門の分類を一本化した。

これらに係る規程・規則の一部改正は、6月16日開催の理事会・評議員会で承認された。すでに、2019年度公募助成募集に反映されている。

### 3 当初事業計画及び予算は、2018年3月に承認されたが、5月にベネッセホールディングス株式の配当が、上期は47.5円を維持したものの、下期配当が25円（△22.5円）と大きく減配されることが発表され、当期に3,375万円の経常収入（基本財産受取配当金）減が明らかとなった。そのため、6月役員会において、この大幅な減少分への対応として、経常費用、管理費、特定資産積立額を見直した。その結果、事業の休止等を行い事業費は2,200万円、特定資産については900万円の事業を削減した。また、甚大な被害を生じた7月西日本豪雨に際し、岡山県へ100万円の義捐金、176万円の被災地支援緊急助成を行った。

### 4 2019年（平成31年）度は更に配当減(3,375万円)があり、2017年度までに比較すると、今後は収入がほぼ半減する事態が継続することとなる。そのため、改めて根本となる財団事業の絞込みを行うべく、様々な検討を行った。単なる改善、改革ではなく、財団の理念に立ち返り、やるべき事業に専念する検討を行う年となった。

## 2018年(平成30年)度の主な事業実績

# 公益目的事業Ⅰ 教育文化活動支援事業

## 1 表彰事業

贈賞式は、「教育文化賞贈賞式」として、教育賞、文化賞を同時開催した。式典は Junko Fukutake Hall (以下 J ホール) で開催し、受賞者全員の発表をした。贈賞式の簡素化等により当初より 1,170 千円削減

### (1) 福武哲彦教育賞及び谷口澄夫教育奨励賞

教育賞 1 件 (特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド)

奨励賞 3 件 (清板芳子氏/三宅医院心理臨床室・課長、特定非営利活動法人元気ッズ、特定非営利活動法人未来へ)

### (2) 福武文化賞及び福武文化奨励賞

文化賞 1 件 (能勢伊勢雄氏/PEPPERLAND 主宰・写真家・美術展企画)

奨励賞 3 件 (上田恭嗣氏/建築 (歴史意匠)・ノートルダム清心女子大学人間生活学部長 教授、梅村知世氏/ピアニスト、野村昌子氏/バルーンアーティスト)

## 2 助成事業

(1) 「教育活動助成」は、128 件 (前年 103 件) の応募があり 62 件 (前 58 件) に総額 1,335 万円を助成。贈呈式は昨期より教育・文化合同で実施しており、成果報告会と交流会 (愛称: and F フェス) では、7 月西日本豪雨の影響等もあったが、約 300 名の参加者があった。(昨年約 400 名)

(2) 「文化活動助成」は、126 件 (前年 132 件) の応募があり、64 件 (3 ヶ年継続助成 6 件含む。) に総額 1,455 万円を助成した。

(3) 「特定教育助成」「特定文化助成」は、事業計画において決定された団体に対し助成した。

対象: おかやま希望学園、岡山県英語力向上支援事業、先進的プログラム助成、出前講座事業 (岡山県文化連盟)、先進的芸術家育成作品展 (岡山県天神山文化プラザ)、岡山の美術活性化事業 (岡山県立美術館)、出石・国吉プロジェクト、岡山の文化財発刊プロジェクト、多様な芸術文化鑑賞支援

(4) 「瀬戸内文化育成助成」は、瀬戸内の振興に寄与するプロジェクトや宇野港周辺の活性化を進める「たまの☆おもてなし推進委員会」事業に対して助成した。

(5) 「公募助成に準じる緊急を要する等の助成(その他助成)」は年度途中で申し出のある緊急を要する教育文化活動及び表彰事業の対象者に対するフォローアップに対して助成した。原則として公募助成の限度額 30 万円を上限とし、20 件に助成した。

(6) 「被災地支援助成」は、昨年 7 月の西日本豪雨の被災地支援として、緊急実施した。水害等により失われた被災地の教育文化活動に必要な資材等の再生・復旧に要する費用や被災地に係る様々な伝統文化活動やその他の文化活動、教育活動に要する費用等に 6 件 176 万円を助成した。

(7) 「J プロジェクト助成」 → 休止 (当初予算 100 万円)

### 【助成事業一覧】

(助成金 単位: 万円)

事業内容	助成件数	助成金額
教育活動助成 (応募 128 件)	62	1,335
文化活動助成 (応募 126 件)	64	1,455
特定教育助成	22	1,347
特定文化助成	7	602
瀬戸内文化育成助成	1	120
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	20	432
被災地支援助成	6	176
合計	182 件	5,467 万円

### 3 研修会等開催事業

#### (1) 研修会・講演会開催

##### ① フォーラム

「ここに生きる、ここで創る」vol.8～「災害」と「文化」のいま、むかし、これから～文化芸術ができることを考えよう～を1月19日（土）にJホールで開催した。（参加者約100名）

パネリスト：永田宏和氏（NPO 法人プラス・アーツ 理事長）×大澤寅雄氏（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室）×石原達也氏（NPO 法人岡山 NPO センター 代表理事）

交流会：西日本豪雨復興に向け備中温羅太鼓演奏、ユニークな駄菓子等の食材で交流

##### ② 教えて考えさせる授業普及推進セミナー

学力向上推進プロジェクトのフォローアップ研修として、7月28日（土）に実施した。

東京大学大学院市川伸一教授、植阪友理助教を講師に参加者50名

##### ③ andF 教室

助成先団体や地域で活動する個人・団体を対象に、共通する課題（運営、基盤等）の解決につながるワークショップ形式の研修を実施。財団にとって、有益な地域情報を入手したり交流する機会でもあり、岡山市、玉野市、和気町で計3回実施した。参加者計80名

・6月24日 山川隆之氏、佐藤豪人氏、三宅真人氏（岡山県立図書館）

・10月28日 大野圭司氏（和気閑谷高校）

・12月1日 石原達也氏（玉野市産業振興ビル）当初7月実施を豪雨災害のため順延

### 4 調査研究事業

岡山県の子供たちの教育文化課題の解決や人間力向上のために以下のような活動を行った。

#### (1) 合同説明会への参加

県内3箇所（岡山・倉敷・津山）で行われた官民合同補助金説明会に参加。活動内容紹介を通じ、助成先候補団体・個人との相談機会を持ち、現場情報の収集に努めた。被災地支援に係る相談増

#### (2) 先進的事例視察等

次年度事業計画への反映等を図るため、視察やスタッフ研修を行った。

① 視察：b ラボ、フローレンス、ベネッセこども基金、助成財団センター等

② スタッフ研修：みんなでつくる財団おかやま 石田篤史氏、岡山 NPO センター 石原達也氏

### 5 主催公演事業

#### (1) 「海の劇場」事業

「学校でひらく舞台芸術教室」（5～7月）を開催した。NPO 法人アートファームに委託

岡山市内の小串小学校（ダンス：平井優子氏）、朝日小学校（演劇：鳥の劇場）にてワークショップを行い7月11日に合同発表会を小串小学校で実施した。共に3年目の実施。小野寺修氏による演劇ワークショップとカンパニーデラシネラによる「ドン・キホーテ」公演を12月14日に馬屋上小学校で実施した。

(2)「新岡山のいろ・かたち」事業 → 休止（当初予算250万円）

### 6 広報事業

財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく様々な施策を行った。

- ・ 県内合同説明会への参加（3地区）、県内市町村教育委員会等への巡回訪問
- ・ 岡山大教育学部大学院等で、学生による助成申請書作成に対して助言指導
- ・ その他従来に引き続き、財団公式 Web サイトの内容充実と月2回更新、財団広報誌「FUEKI」年3回発行、財団公式 facebook による情報紹介等
- ・ 公募助成申請希望者を対象とした個別相談会を実施。合計17件の団体・個人に対応した。

## 公益目的事業Ⅱ 国際的人材育成事業

### 1 日中青年交流研修事業

岡山県日中教育交流協議会の STUDENT EXCHANGE 事業で、岡山県の高校生 15 名が上海市を訪問し、上海からは 15 名の高校生が岡山を訪れ、学校授業や行事、ホームステイ等を通じて相互理解を深めた。

### 2 研修会等開催事業

海外に視野を広げるよう促し国際的な人材育成を推進するため、自治体や教育委員会、各種団体との連携協力を呼びかけた。

## 財団運営

### 1 理事会・評議員会

- 2018 年（平成 30 年）5 月 22 日 書面決議による第 1 回理事会
  - 提案① 2017 年（平成 29 年）度事業報告及び決算の承認の件
  - 提案② 2018 年（平成 30 年）度定時評議員会開催の件
- 2018 年（平成 30 年）6 月 16 日
  - (1) 第 2 回理事会
    - 議案① 補欠評議員候補者の提案の件
    - 議案② 理事及び監事候補者の提案の件
    - 議案③ 2018 年（平成 30 年）度表彰事業選考委員会委員の選任の件
    - 議案④ 株主としての権利行使承認の件
    - 議案⑤ 2018 年（平成 30 年）度収支予算書の補正の件
    - 議案⑥ 公益目的事業の変更認定申請についての承認の件
    - 議案⑦ 表彰事業選考委員会規則の一部改正の件
    - 議案⑧ 助成事業等審査委員会規則の一部改正の件
    - 報告① 2017 年（平成 29 年）度助成事業の報告の件
    - 報告② 代表理事等職務執行状況報告の件
    - 報告③ 資産運用状況報告
  - (2) 定時評議員会
    - 議案① 補欠評議員の選任の件
    - 議案② 理事及び監事の選任の件
    - 議案③ 2017 年（平成 29 年）度事業報告及び決算の承認の件
    - 議案④ 2018 年（平成 30 年）度収支予算書の補正の件
    - 議案⑤ 公益目的事業の変更認定申請の件
    - 議案⑥ 表彰事業規程の一部改正の件
    - 議案⑦ 助成事業規程の一部改正の件
    - 報告① 2017 年（平成 29 年）度助成事業の報告の件
  - (3) 第 3 回理事会
    - 議案① 理事長、副理事長及び常任理事選定の件
- 2019 年（平成 31 年）1 月 10 日
  - (1) 第 4 回理事会
    - 提案① 2019 年（平成 31 年）度助成事業審査委員会委員の選任の件
    - 提案② 評議員会開催の件

### 2 事務局

平成 30 年 9 月 28 日変更認定申請提出 平成 30 年 12 月 6 日変更認定書交付

## Ⅱ 2019年（平成31年）度事業の基本方針

設立33年目を迎える今年度は、より一層、教育と文化が融合した地域振興を図ることとする。また、予算規模は縮小するが、岡山県にとってなくてはならぬ財団であるために、財団が大切にしてきた「不易」を継続しつつ、時代の変化にも対応しながら、必要不可欠な事業を堅実に運営する。

方針としては、以下の観点で2019年（平成31年）度の事業を推進する。

### （1）表彰事業の一本化

新しい表彰制度「福武教育文化賞」を円滑に遂行する。

### （2）助成分野での教育・文化の更なる融合

新しい「福武教育文化助成」事業の円滑な運営と、教育・文化の混在融合を図る。

### （3）広報事業等については一層のコスト削減と効率性発揮

従来の枠組みを超えた改善、改革実施し、さらにコストを抜本的に見直す。

## Ⅲ 2019年（平成31年）度の事業計画

（単位：千円）

### 公益目的事業Ⅰ 教育文化活動支援事業（定款第4条1項第1号）

予算総額 126,500（前年度当初 169,890 今回補正後 148,822 ※共通経費を含む）

#### 1 表彰事業 予算総額 3,000（前年度当初 7,170 今回補正後 6,000）

… 昨年度までは本賞（活動成果の顕彰：福武哲彦教育賞、福武文化賞）と奨励賞（将来の活動促進：谷口澄夫教育奨励賞、福武文化賞）を表彰してきたが、今年度より、教育と文化の両面から地域振興を図ることを目的として「福武教育文化賞」に一本化する。将来、地域振興の担い手となることが期待される個人・団体を表彰できるよう、更に周知に努め、推薦数の増加を図るとともに、福武らしい受賞者を顕彰する。贈賞式は、助成対象者の報告会・交流会と同時開催予定。

また、新たに受賞者フォロー助成として、受賞後最大3ヵ年、30万円の助成を設定（予算計上は、助成事業枠）これは従来、受賞者への活動支援としてその他緊急助成枠で助成していた。

#### 福武教育文化賞

《目的》 岡山県の教育文化の振興に顕著な業績をあげ、今後の更なる貢献が期待される個人・団体を表彰し、功績を称えるとともに後進の目標とする。

《対象》 岡山県内に在住又は岡山県に関わりのある者に贈るものとし、岡山県の教育文化の向上に著しい貢献が期待される個人又は団体を対象とする。教育、文化の両面から地域課題に取り組み、地域振興への貢献が出来ていることを重視する。

《推薦》 岡山県教育委員会、市町村教育委員会等教育関係団体、報道機関等からの推薦

《賞》 表彰状、賞牌及び副賞（30万円）賞は3～5件程度

《選考》 選考委員会で選考し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て理事長が決定

《予定》 5月告知、6～7月推薦受付、9月選考委員会、11月贈賞式

## 2 助成事業 予算総額 49,750 (前年度当初 73,230 今回補正後 60,782)

… 今年度より、公募助成については従来の教育活動助成及び文化活動助成を「教育文化活動助成」として一本化し、教育及び文化の視点から地域振興を図る活動全般に助成する。従来の贈呈式は廃すが、発表会・交流会を開催し、財団の象徴的な催事として発信する。贈賞式と、同時開催することにより、更なる動員と経費削減を実現する。

また、特定助成は、教育と文化による分類をやめ、①先進的事業助成、②グローバル化事業助成、③瀬戸内文化育成助成の3分類とする。また予算縮小により、従来から継続していた事業の休止、終了等を明確にするが、公募助成は財団の中心となる事業であり、昨年度同規模とする。

### (1) 教育文化活動助成（公募） 予算額 33,200 (前年度当初 36,440 今回補正後 33,875)

#### 《目的》

教育及び文化の視点から地域振興を図る活動による人づくり・地域づくりを応援し、地域が活性化することを期待し、教育文化に関する有意義な実践活動等を助成し、学校及び地域の教育文化振興に貢献する。

#### 《助成対象となる活動》

教育又は文化を手段に用いて、岡山県内で実施される地域社会の課題解決と社会的価値の創造を図る活動（教育文化の質の向上も含む。）

- ・新たな教育課題の解消に向けた活動（子育て支援・学ぶ力・グローバル・キャリア・シチズンシップ・情報リテラシー等の活動）
- ・学校（教職員・学生・生徒）が地域住民と協力して行う地域課題を解消するための活動
- ・地域の文化資源（伝統・民芸・歴史・民俗・風土等）の掘り起し、伝承、発展にかかわる活動
- ・文芸、美術、音楽、演劇、舞踊、映画等の芸術の質の向上、普及、創造にかかわる活動
- ・その他教育文化活動で、人づくり地域づくりに寄与するもの

《助成額》 原則1件当たりの上限は30万円

《期間》 2019年（平成31年）度中に実施する事業

《審査》 審査委員会（4部会16名）で審査し、理事現在数の2分の1以上の同意を得て決定

《予定》 12～1月 申請受付、3月 審査委員会、4月 事業開始、11月 成果報告・交流会

### 新(2) 教育文化賞受賞者フォロー助成 予算額 1,200

#### 《目的》

教育文化賞の受賞者に対して、受賞後も継続して質の向上と人づくり・地域づくりの活動を行うことを促すため、受賞後3年間30万円を限度として申請に基づき助成する。

この助成は、従前から「緊急助成」中で行ってきたが、これを制度化するものである。

### (3) 特定の特色ある活動に対する助成 予算額 14,850 (前年度当初 30,780 今回補正後 20,827)

- ・ **従来の教育と文化の2部門を教育文化の1部門に統合し、①先進的事業助成 ②グローバル化事業助成 ③瀬戸内文化育成助成の3分類とする。**
- ・ 配当減により、継続的に助成した事業を大幅に見直し、減額または休止とする。
- ・ 助成先へ継続を内諾していた事業については、継続する。

#### ① 先進的事業助成 予算額 4,800 (今回補正後 5,350)

新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成する。

- ・ 教えて考えさせる授業研究会(300)  
「教えて考えさせる授業」の指導理論の学習や授業実践の研修を通して、教師の指導力向上に資する機会である、「教えて考えさせる授業セミナーinおかやま」に対して助成する。
- ・ キャリア教育（井原市人づくり実行委員会等1,000）
- ・ 文化出前講座（岡山県文化連盟800）
- ・ 多様な芸術文化鑑賞支援（県美展覧会2,000、学校で開く舞台芸術400、対話型鑑賞支援300）

② **グローバル化事業助成** 予算額 7,700 (今回補正後 9,727)

7) **岡山県英語力向上事業支援** (5,600)

県下で行われる様々な英語力向上に関する取組み事業に助成をする。(岡山県+市町村教育委員会)

- ・ 中学校英語 4 技能育成研究事業への助成  
岡山県教育委員会が中心となって、県内の複数地域に指定校を設置し、県内中学 3 年生を対象にした英語 4 技能育成研究事業への助成を 3 ヶ年継続助成の最終年とする。(3,780)
- ・ 希望する市町村教育委員会への上記関連費用に対する 1/2 助成を行う。(1,820)

イ) **英語力向上につながる各種研修への助成** (1,800)

市町村教育委員会が連携する教育研究団体や大学等が実施するイングリッシュキャンプ、英会話語学レッスン、イメージ教育等の研修に対して必要な経費の最大 1/2 を助成する。

《対象》 玉野市 (たまのステューデントガイド事業) 他

ウ) **岡山県日中教育交流協議会** (300)

岡山県及び中国の高校生が相互に訪問交流し、学校授業や行事、ホームステイ等を通じて相互理解と友好を深める STUDENT EXCHANGE 事業に対して助成する。

③ **瀬戸内文化育成助成** 予算額 2,300 (今回補正後 1,200)

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成する。

7) **瀬戸内国際芸術祭に関係する文化・芸術事業への助成**

- ・ たまのおもてなし推進委員会への助成 (1,000)
- ・ 公共交通 RACDA による瀬戸芸時刻ネットワーク (300)
- ・ 岡山シティミュージアムで開催の国吉康雄展 (4 月～5 月) (1,000)

イ) ~~その他沿岸市町村から推薦のある瀬戸内文化育成プロジェクト等に対する助成~~

休止又は終了した助成

- ・ **学校法人おかやま希望学園**への助成 (昨年度実績 1,500)  
既存の学校になじみにくい子どもたちのために設立された学園の運営と研究活動の支援を長期間に渡り継続していたが、昨年度より従来の特定助成は継続しない旨連絡。公募助成には応募いただくことは可能。→2018 年度で終了
- ・ **がんばる若者支援** (1,350) →特定教育助成の項目としてはなくなるが、先進的事業助成へ  
社会教育、生涯教育等の分野で、地域の NPO 法人、大学生等が行政、保護者等と連携し、効果的なキャリア教育等を実施し、子どもたちの地域への関心を深めるワークショップ等の開催を支援する。
- ・ **岡山県天神山文化プラザ**で開催される先進的芸術家育成作品展等を助成 (1,000) →休止
- ・ 「**岡山の文化財**」発刊プロジェクト (1,000) →2018 年度で終了

(4) **公募助成に準じる緊急を要する等の助成** 予算額 500 (前年度当初 5,500 今回補正後 6,080)

年度途中で申し出のある緊急を要する教育文化活動に対して助成するが、緊急対応のみで、予算規模は大幅に縮小する。従来は、受賞者支援をこの緊急助成で行っていたが、新設の福武教育文化受賞者フォロー助成で対応する。

### 3 研修会等開催事業 予算総額 1,200 (前年度当初 3,000 今回補正後 2,180)

#### (1) フォーラム開催 (1,000)

第9回目の開催となる財団フォーラムは、1月に地域で活動する著名な有識者等を招き、今後の財団活動の指針となる講演会等を開催し、更なる財団の発信力強化につなげ、参加者の交流を同時に図る。

#### (2) andF 教室 (200)

助成先団体に共通する課題(運営、基盤等)解決につながる実践的なセミナーの実施。昨年度までのテスト的な実施から、次のステップへ。

### 4 調査研究事業 予算総額 300 (前年度当初 1,000 今回補正後 400)

岡山県の子どもたちの教育文化課題の解決や人間力向上のために必要な調査研究等を中長期の視点で行う。特に先進的事例等の視察や報告会を実施する。

### 5 主催公演事業 予算総額 0 (前年度当初 5,520 今回補正後 3,000)

#### (1) 「海の劇場」事業 → 従来の形態では休止 (特定助成：先進的事業助成へ)

~~小規模校(岡山市立小串小学校、朝日小学校、馬屋上小学校)にアーティスト(ダンス、演劇)を派遣して子どもたちと創作活動を行う「学校でひらく舞台芸術教室」を実施する。  
NPO法人アートファームに委託するものとする。~~

#### (2) 「新岡山のいろ・かたち」事業 → 休止(復配等財源が見込まれるまでは、休止)

### 6 広報事業 予算総額 6,450 (前年度当初 11,000 今回補正後 8,000)

従来より継続している財団公式Webサイトや財団公式facebookを活用した日常的な発信力強化を図り、財団事業の積極的な広報および存在意義を周知する。瀬戸内国際芸術祭2019開催の広報も積極的に行う。

### 7 周年記念事業 予算総額 10,500 (前年度当初 10,500 今回補正後同額)

1986年に設立された当財団の30周年記念事業として、2015年後期から2017年度末まで、2年半にわたり岡山県の教育文化の振興に寄与する事業として、岡山大学教育学部に設置される「国吉康雄を中心とする美術鑑賞教育研究講座」にかかる費用の一部を助成金として負担した。

その間の活動が学内外から相当の評価があったため、さらに3カ年の継続助成に値すると判断し、2018年度から2020年度まで「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」の3カ年継続助成として実施している。

#### (参考)

昨年度までの公益目的事業2「国際的人材育成事業」日中青年交流事業)は、公益目的事業1「教育文化活動支援事業>助成事業>特定助成>グローバル化事業助成へ移動